

7月の野菜の見通し

令和3年6月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,477	平年並 み	8,118	114	96%	101	0	0.0%	北海道産中心の出回りで生育順調ではあるが作付けが前年比減。需要量は少ない月だが、全体量はやや少なかった前年並みで平年を下回る予想から、見通し単価は平年比1割高。
キャベツ	16,749	平年並 み	16,337	99	81%	81	1	0.0%	群馬産が生育順調。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価はコロナ渦の家庭消費が牽引した前年を下回るも平年並み。
ねぎ	3,203	平年並 み	3,582	514	70%	389	7	0.2%	茨城・千葉産は生育順調。中旬から北海道・青森産がスタート、漸増して価格は上向く気配。予想入荷量はやや少なかった前年並み。見通し単価は平年比やや安。
きゅうり	6,625	平年並 み	6,952	380	92%	325	390	5.9%	福島・岩手産等東北産中心の出回り。6月下旬は東北産の増量で単価は下がるが、7月上旬は価格がこなれて底上げか。中旬以降は東北産のピークに入り価格下げ気配が強まる予想。全体量は前年・平年並みで、見通し単価は平年比やや高。
トマト	6,910	平年並 み	7,797	363	94%	320	353	5.1%	上旬は千葉・栃木産が最盛期を過ぎて減少し、価格上昇の気配強まる。下旬には北海道・青森産がピークを迎え増量して価格は弱含みの展開へ。予想入荷量は平年並み。見通し単価は平年比やや高。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)